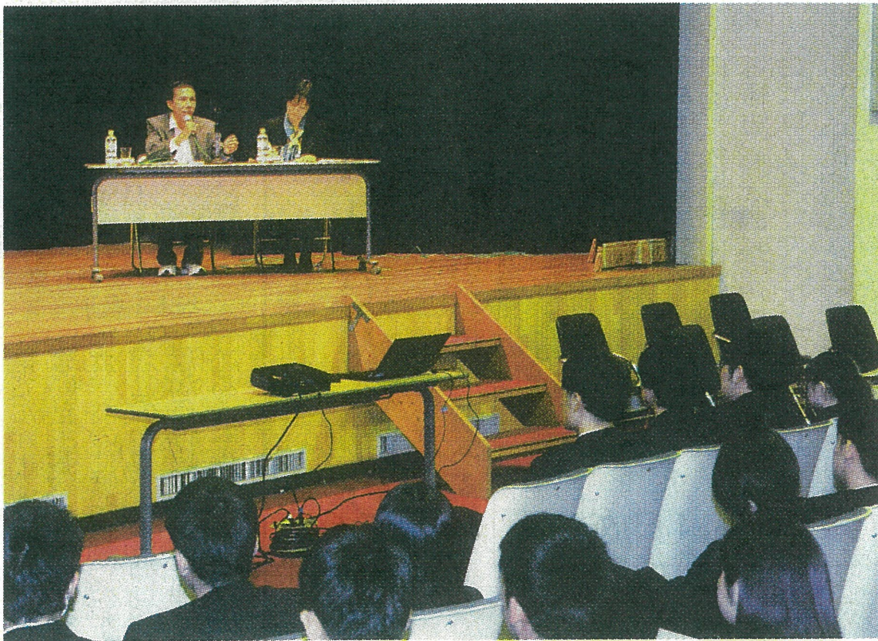


2019年(令和元年)11月2日(土曜日)

# 世界寺子屋運動に感謝

## 日本ユネスコ協会職員、室蘭・海星学院高訪問



### 「識字教育の機会広がった」

開発途上国の識字教育などを支援する「世界寺子屋運動」に取り組む室蘭・海星学院高校(堺俊光校長)に10月31日、日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所のクラン・バンタイさんが訪問し、生徒らの運動に対する協力に感謝を伝えた。

(菅原啓)

ユネスコスクールに認定されている同校は、2011年(平成23年)から同連盟が進める寺子屋運動への協力を開始。1枚45円の支援につながる書き損じはがきの寄付を呼び掛け、18年度までの8年間で延べ約4万5千枚、総額235万円の寄付を集めた。

寄付は毎年、室蘭ユネスコ協会(立野了子会長)を通じて、カンボジアの識字教育活動などに役立てられる。

カンボジアでの教育機会向上を海星学院高校の生徒に説明するバンタイさん(壇上左)

ている。バンタイさんは現地で教育プログラムを担当。この日は立野会長ら協会関係者とともに同校を訪れた。

バンタイさんは、生徒から現地での活動や同運動への感想を聞かれ「子どもたちの識字教育を受ける機会が広がり、将来の夢を語る子どもが増えている」と同運動の成果や広がり報告。「皆さんの援助でカンボジアの人はとても喜んでいきます」と感謝を述べた。同校は今年も書き損じはがき寄付の呼び掛けに取り組み方針だ。